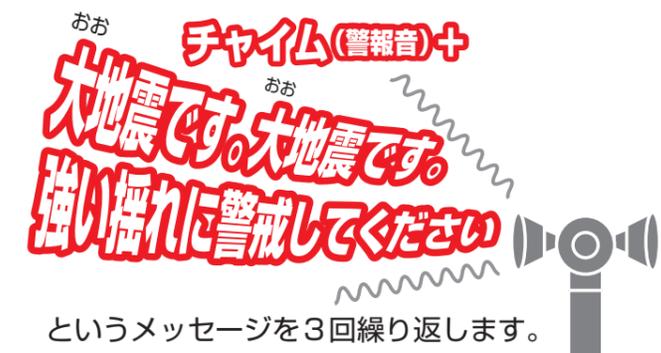


ご存じですか？ 防災行政無線で緊急地震速報を発信！



というメッセージを3回繰り返します。

市では、昨年度整備した全国瞬時警報システム（J-ALERT）を利用して、市内に震度5弱以上の地震の発生が予想される場合、防災行政無線を通じて緊急地震速報が発信できるようになりました。

緊急地震速報は、地震による強い揺れを事前にお知らせするための地震動の予報・警報です。

ここでは、緊急地震速報の内容や特性、発信された場合にどのような行動を取ればよいかなどについてお知らせします。

総務課防災対策室 ☎1118

緊急地震速報とは？

地震の揺れは、伝わる速度の異なる2種類の地震波（P波とS波）によって伝わります。

最初に小さな揺れ（P波）が伝わり、次に強い揺れ（S波）が伝わります。地震による被害は、主にS波によってもたらされます。

緊急地震速報は、このP波とS波の伝わる時間差を利用して、震源に近い地震計で観測したデータを基に地震の発生や規模を予測して、可能な限り素早くお知らせするものです。（下図参照）

情報が流れたら、ただちに机の下に隠れるなどの避難行動を取ることによって、被害の軽減に役立つ事が期待されています。

ただし、震源が近い場合は、緊急地震速報が揺れに間に合わない場合があります。

緊急地震速報の特性

情報を適切に活用するため、緊急地震速報に次のような特性（限界）があることに注意してください。

- 内陸の浅い地震（直下型地震）などの場合には、情報の発信が大きな揺れの到達に間に合わない場合があります。
- 気象庁の緊急地震速報を受信してから、防災行政無線が自動起動するまでに一定の時間を要するため、放送が大きな揺れの到達に間に合わない場合があります。
- 場合により、誤報が発信される可能性があります。（誤報の場合には、その旨をお知らせします）

緊急地震速報

基本は、「慌てず、まず身の安全を確保する!!」

緊急地震速報を見聞きしてから強い揺れがくるまでの時間は、数秒から数十秒しかありません。また、放送が間に合わない場合があります。

緊急地震速報を見聞きしたら、または地震の揺れを感じたら（緊急地震速報を聞かなくても）、周りの人にも声をかけながら「慌てずに、まず身の安全を確保」しましょう。

利用の心得

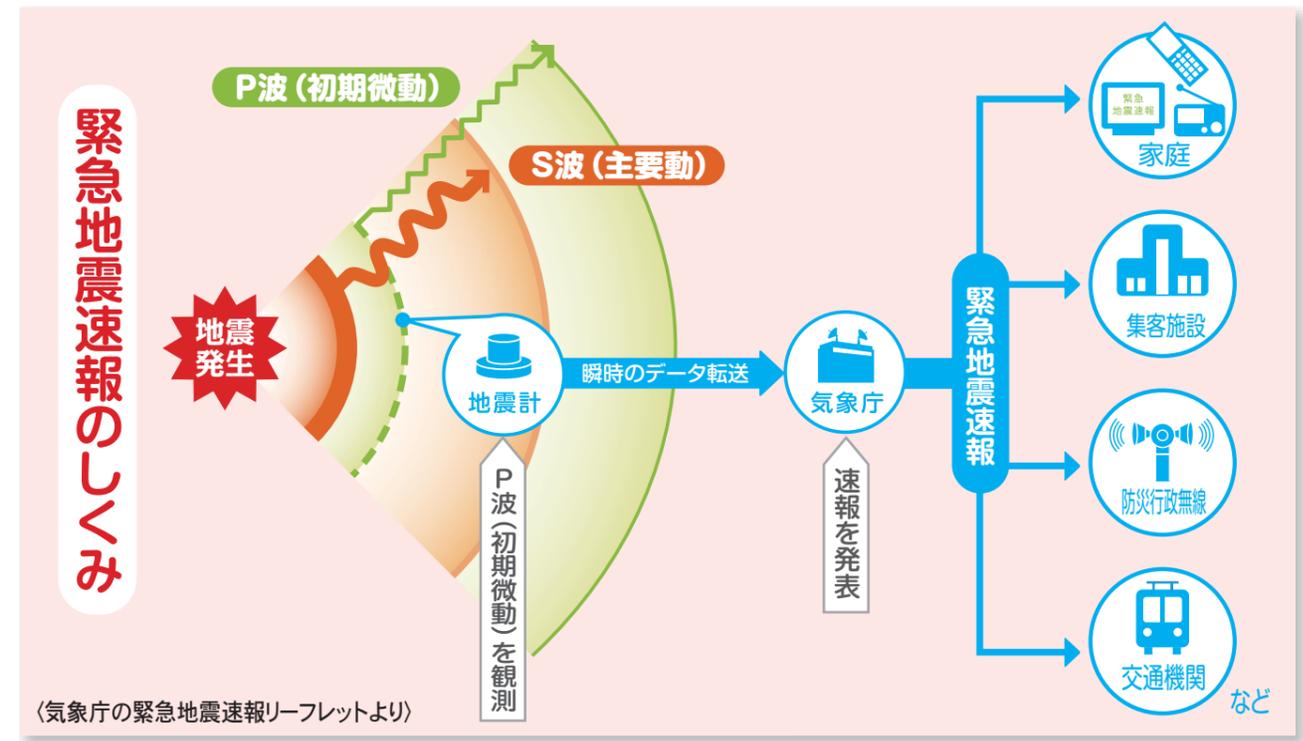
日ごろからの備えが大切です

身の安全を確保する場合、周囲の状況により、取るべき行動は異なります。左の表を参考に、日ごろからいざというときの行動を考えておきましょう。

また、家具の転倒防止対策や、津波に対する避難路や避難場所の確認なども大切です。ぜひ一度、ご家族で話し合ってみてください。

緊急地震速報は、どうやって聞くの？

緊急地震速報は、鳥羽市をはじめ市町村の防災行政無線のほか、テレビやラジオ、携帯電話、専用受信端末を利用した施設の館内放送など、さまざまな方法や場所での情報提供が始まっています。



〈気象庁の緊急地震速報リーフレットより〉

緊急地震速報 利用の心得

慌てず、まず身の安全を!!

- 家庭では**
- ・ 頭を保護し、丈夫な机の下など安全な場所に隠れる
 - ・ 慌てて外へ飛び出さない
 - ・ 無理に火を消そうとしない
- 屋外(街や住宅地)では**
- ・ ブロック塀の倒壊などに注意する
 - ・ 看板や割れたガラスの落下に注意し、そばから離れる

- 人が大勢いる施設では**
- ・ 係員の指示に従う
 - ・ 慌てて出口に走り出さない

- 自動車運転中は**
- ・ 慌ててスピードを落とさない
 - ・ ハザードランプを点灯し、周りの車に注意しながら
 - ・ 急ブレーキはかけず、ゆるやかに速度を落とす

- 電車・バス乗車中は**
- ・ つり革、手すりにしっかりつかまる

- エレベーターでは**
- ・ 最寄りの階に停止させ、すぐに降りる

- 山やがけ付近では**
- ・ 落石やがけ崩れに注意する

- 全国瞬時警報システムは、緊急地震速報以外にも次のような情報をお伝えします。
- 津波関連**
- 大津波警報
 - 津波警報
 - 津波注意報
- 震度速報関連**
- 震度4
 - 震度5弱
 - 震度5強
 - 震度6弱以上
- 国民保護関連**
- ゲリラ等における警報
 - 航空攻撃等における警報
 - 弾道ミサイルにおける警報
 - 大規模テロにおける警報